

I. 研究分野

時系列分析、計量経済学、パネルデータ分析
(すべて理論の研究が中心である)

II. 研究分野 (英語表記)

Time Series Analysis, Econometrics, Panel Data Analysis
(Theoretical Econometrics)

III. 修士課程学生の履修要件

統計学および計量経済学の基礎的な理論を理解していること。とくに、解析学(微積分など)および線形代数(行列の階数、固有値など)、数理統計学(最尤法などの理解)などの理解を必須条件とする。原則として修士1年からゼミに所属すること。

また、理論の研究には進まないが実証研究をするために時系列分析の知識を身につけたい学生については、1年次の主ゼミもしくは副ゼミとしての履修を認める。2年次に実証研究の指導を受けたい場合も、原則としては1年次からの履修を求める。

IV. 選考期間および方法

2026年4月6日~10日の間にメールでアポイントメントを取ること。その際、2年間の主ゼミを希望するか(修士論文までの指導を希望するか)、1年間のみのゼミを希望するか(1年間のみ時系列分析のテキストの輪読を希望するか)を連絡すること。その後、面談の日程を決める。

V. 指導方針

博士後期課程まで進学を希望する学生には、時系列分析および計量経済学の理論に関する修士論文を書くよう指導する方針である。修士2年間で修了する学生で実証研究を希望する場合は、1年目は時系列分析の理論を学習するが、2年目は実証研究で修士論文が書けるように指導する。全体としては、修士1年ではテキストの輪読、2年次以降は興味のあるテーマの文献を読み、報告する。なお、履修登録上、ゼミは金曜日4限であるが、修士1年のゼミは、実際には別の曜日・時限に開催する可能性がある(要相談)。

VI. 博士後期課程学生の履修要件

- ・一橋内部進学生:「上級計量経済学」がB以上であること。時系列分析の理論を学んでいること。
- ・一橋大学以外の学生:標準的な大学院上級レベルの計量経済学の理論(ベクトル・行列を用いるもの)を十分に理解し、時系列分析の理論を学んでいること。

VII. 共同開講者に関するメモ

VIII. 詳細リンク先 URL

<http://www1.econ.hit-u.ac.jp/kurozumi/index.html>